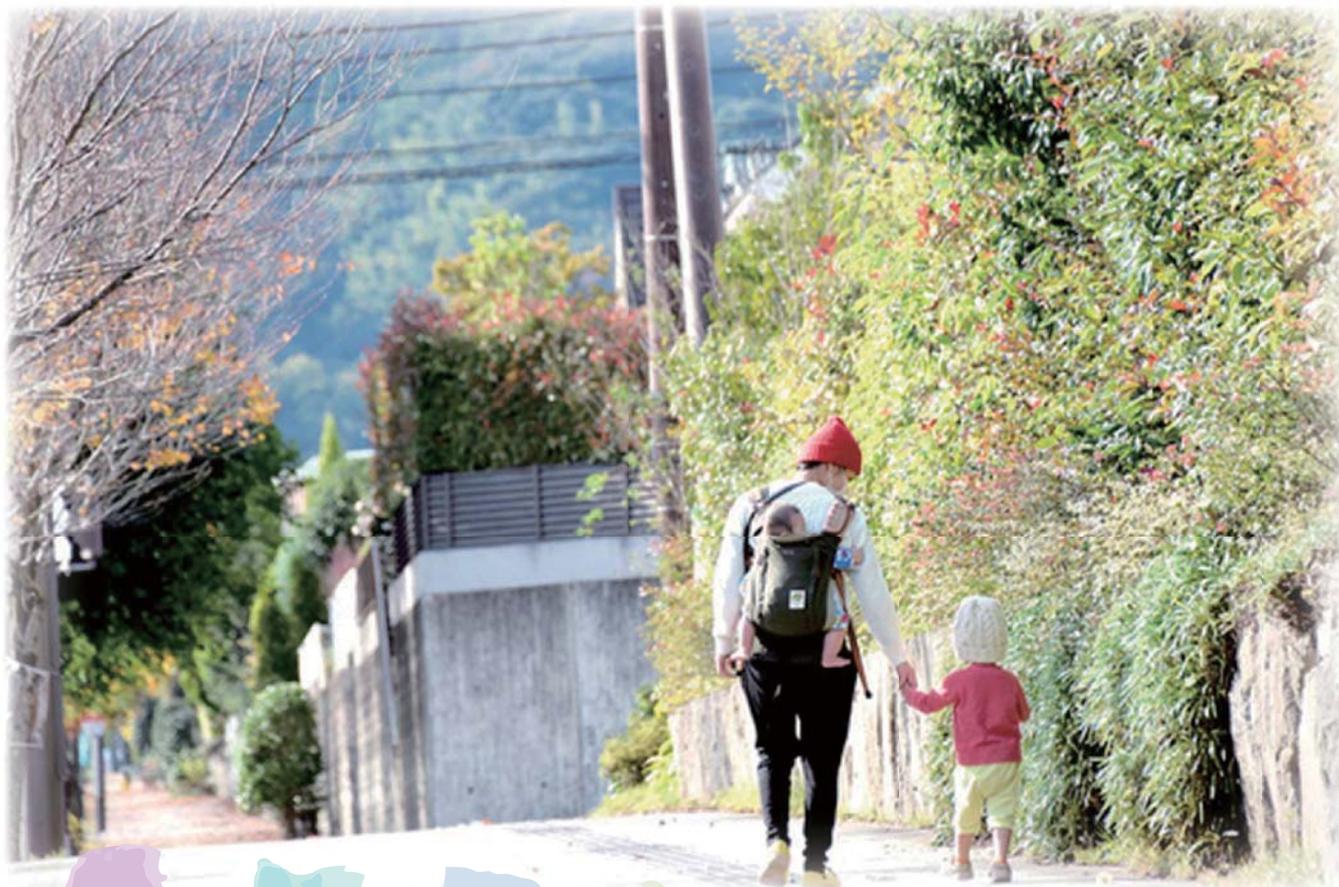


My home town

Yayoigaoka

弥生が丘地区まちづくり推進計画



弥生が丘地区まちづくり推進計画

2017～2026

はじめに

日頃は弥生が丘地区まちづくり推進協議会にご理解、ご協力をいただき有難うございます。

弥生が丘地区が「地域の特色と個性を活かし、地域の問題解決、住みよい活力ある地域社会を築く」ことを念頭において、「弥生が丘地区まちづくり推進計画策定委員会」を立ち上げました。「何をどの様にすすめていくのか」を協議していただくとともに、弥生が丘地区まちづくりアンケート調査を実施し、色々なご意見やご要望をいただきました。これらをもとに、弥生が丘地区まちづくり推進計画策定委員会を12回開催し、また、各専門部会でも、白熱した議論が行われました。

子ども達が故郷と呼べる10年後の姿を描き、平成28年度の臨時総会で構成員の皆様の承認をいただき、ここに「弥生が丘地区まちづくり推進計画」を公表させていただくこととなりました。

シンボルマーク「やよいのき」を大きく育てるために、基本理念の「明るい未来のバトンを次世代に」の考えのもと、知恵と連携でまちづくり活動を力強く、粘り強く前進させていきましょう。

弥生が丘地区をよりよくしていくために、皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。



弥生が丘地区まちづくり推進協議会
会長 佐田功利

目次

第1章 弥生が丘地区の概要

- (1) 地勢・地域の沿革
- (2) 人口
- (3) 産業
- (4) 公共施設・公園・文化財

第2章 まちづくり基本構想

- (1) 現状と課題
- (2) 基本理念と将来像
- (3) まちづくりの基本目標

第3章 まちづくり推進計画

- (1) 推進体制
- (2) 基本目標を達成するための取り組み（部会別事業計画）
- (3) 目標達成の検証と計画の見直し



第 1 章 弥生が丘地区の概要

(1) 地勢・地域の沿革

弥生が丘地域は、鳥栖市の北部に位置する基山町と隣接した丘陵地で、南北 1.8 km 東西 2.5 km。

九州縦貫自動車道、九州横断自動車道が交差する鳥栖ジャンクション、JR 鹿児島本線弥生が丘駅、また国道 3 号線の広域交通体系を始め、さまざまな交通体系のクロスポイントに当たります。九州全県へのアクセスについては随一の優れた利便性をもつ地域といえます。

以前、田代地区と同じ地区でありましたが、北部丘陵新都市開発整備事業により、住宅用地、産業用地、教育・文化、医療・福祉等の施設用地が総合的に整備され、人口が大幅に増加し、柚比町・弥生が丘・今町の町区を校区とする弥生が丘小学校が新設されました。

更に、平成 27 年弥生が丘まちづくり推進センターが開設され、弥生が丘地区が誕生しました。

明治22年 4月 1日 旧来の田代村、永吉村、柚比村、神辺村、萱方村が合併して基肄郡田代村が発足。

明治29年 4月 三根郡、基肄郡、養父郡が合併して三養基郡が発足。

昭和11年 4月 1日 田代村が町制施行し田代町になる。

昭和29年 4月 1日 鳥栖町、基里村、麓村、旭村と田代町が合併し鳥栖市が発足。

平成4年 11月 柚比町・今町・永吉町にまたがる鳥栖地区約 210ha と、基山地区約 40ha 地域で鳥栖北部丘陵新都市開発整備事業が起工

平成13年 3月 JR弥生が丘駅が開業、「弥生が丘街びらき」を開催

平成16年 2月 鳥栖北部丘陵新都市開発整備事業が完工

平成16年 3月 鳥栖プレミアム・アウトレットが開業

平成20年 4月 弥生が丘小学校新設開校

平成27年 5月 弥生が丘まちづくり推進センター開設

平成27年 5月 弥生が丘地区まちづくり推進協議会設立



(2) 人 口

弥生が丘地区の人口は、平成 28 年 9 月 30 日現在の公称住所人口調べでは、2,580 世帯、人口 7,327 人です。人口及び世帯数の推移は、10 年間で 2.2 ～ 2.3 倍になっています。

年齢別人口を見てみると、0 ～ 19 歳、30 ～ 49 歳が多く、20 歳代と 50 歳以上が少ない地区です。

年少人口 (0 ～ 14 歳) は、2,068 人 28.2%、生産年齢人口 (15 ～ 64 歳) は、4,507 人 61.5%、65 歳以上は、752 人 10.2% で、鳥栖市全体の 16.4% ・ 61.4% ・ 22.2% と比較すると、年少人口が多い地区です。また、弥生が丘小学校の児童数は、開校年度 387 名から年々増加し、平成 28 年度は 1,001 名と佐賀県一の児童数です。



公称住所別人口及び世帯数の推移の表(平成28年9月30日現在)

	平成18年9月30日		平成23年9月30日		平成28年9月30日	
	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
今町	128	43	115	40	109	43
弥生が丘東区(1,2,3丁目)	998	448	2,191	838	3,134	1,212
弥生が丘中央区(4,5丁目)	1,205	420	2,458	792	2,636	859
弥生が丘南区(6,7,8丁目)	562	165	1,137	340	1,198	369
柚比町	293	93	279	97	250	97
弥生が丘 計	3,186	1,169	6,180	2,107	7,327	2,580
鳥栖市全体	64,464	23,710	69,311	26,668	72,679	29,699

弥生が丘地区の年齢別人口と構成比の表(平成28年9月30日現在)

		0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80以上	合計
		鳥栖市全体	計	11,942	44,635					16,102	
鳥栖市全体	計	7,834	8,033	7,539	9,848	11,094	7,847	9,494	6,264	4,726	72,679
	構成比	10.80%	11.10%	10.40%	13.50%	15.30%	10.80%	13.10%	8.60%	6.50%	
	男	4,043	4,058	3,736	4,970	5,548	3,873	4,587	2,779	1,579	35,123
	女	3,791	3,975	3,803	4,928	5,546	3,974	4,907	3,485	3,147	37,556
弥生が丘地区	計	2,068	4,507					752			
	計	1,341	1,153	457	1,227	1,532	585	574	258	202	7,327
	構成比	18.30%	15.70%	6.20%	16.70%	20.90%	8.00%	7.80%	3.50%	2.70%	
	男	664	552	196	576	762	319	273	110	64	3,516
	女	677	601	261	651	770	266	301	148	138	3,811

弥生が丘小学校児童数の推移(各年度の5月1日現在)

平成20年	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年
387	638	778	941	1,001



(3) 産 業

平成9年から（独）都市再生機構（旧地域振興整備公団）により、新しい地域開発の核となる住宅用地、産業用地の分譲が開始され、鳥栖ジャンクションに近く、九州全域へのアクセスに優れた利便性をもつ地区ということもあり、TOWA、アステム、東洋新薬、ユニファ、理工協産、日立物流、日本生活協同組合連合会、鳥栖プレミアム・アウトレット、ピップフジモト、瑞穂、サンセールミキ等の企業や、佐賀県立九州シンクロトロン光研究センターが立地しています。また、医療福祉施設等も多く、都市機能が充実した地区です。また、国内外のブランド直営店が集まった大型ショッピングセンターである「鳥栖プレミアム・アウトレット」には、年間約550万人の方が訪れます。



鳥栖プレミアム・アウトレット



佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター

(4) 公共施設・公園・文化財

■公共施設



弥生が丘小学校



弥生が丘まちづくり推進センター



北部グラウンド



■公園



田代公園



安永田史跡公園



安永田公園



もちの木公園



大久保公園



ハツ並公園



東公園 (時の門)



さくら公園



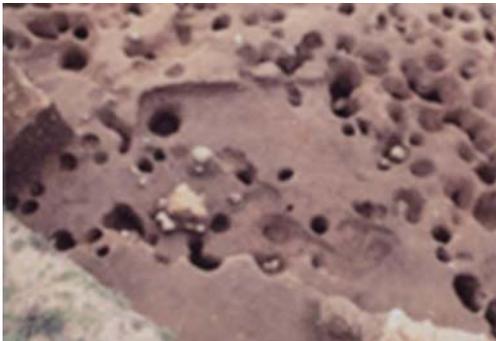
東公園 (おひさまの丘)



梅坂公園

■文化財

安永田遺跡（やすながたいせき）



【所在地】 鳥栖市柚比町安永田

【指定日】 昭和 57 年 12 月 18 日



昭和 54 年、この地から九州で初めて銅鐸の鋳型が発見されました。それまで北部九州地方には銅鐸はないと考えられていましたが、銅鐸の鋳型が発見によって銅鐸が作られていたことがあきらかになりました。

ここは、弥生時代の「ハイテク工場」であることが判明しました。現在、本調査を行った地区 4,400 平米が史跡に指定され、出土した銅鐸鋳型 5 点、銅矛鋳型 5 点の計 10 点の鋳型片が、一括して国重要文化財に指定されています。調査地区は、北方向から狭く深く谷が入り込む地形で、この谷頭を取り囲むようにして 49 軒の竪穴式住居跡が見つかりました。このうち 36 軒が弥生時代中期の後半から末にかけて（約 2,000 年前）の住居跡です。谷底にもっとも近いところから青銅器の原料を溶かしたと思われる炉の跡が見つかりました。谷底に作ったのは谷間の風通しのよさを利用するためと考えられます。現在、調査地区は史跡公園として整備されており、青銅器鋳造遺構を原位置の上に復元展示しています。

ヒャーガンサン古墳石室



【所在地】 鳥栖市弥生が丘 7 丁目（梅坂公園）

【指定日】 平成 16 年 4 月 19 日



ヒャーガンサン古墳は、鳥栖市と基山町の境界近くの八ツ並金丸遺跡（やつなみかなまるいせき）の標高 56m の丘陵に所在していた古墳で、古墳時代後期（約 1,430 年前）に築造されたものです。平成 10 年～11 年にかけて発掘調査を実施した結果、墳丘は円墳で直径 20m、高さ 2m、石室は複室両袖型の横穴式石室で、全長 4.8m、玄室長 3.1m、最大幅 2.2m、最大高 2.2m です。

この古墳には赤色の装飾文様が石室奥壁に描かれています。中央には径 25cm、右側には径 15cm と 25cm の中心部に点が付された円文が配されています。なお、古墳の名称である「ヒャーガンサン」という地名については、「灰岩山」「拝願山」の字を当てて由来する説や「這わせる神様（ハウ・カンサン）」がいる場所という意味でこの名が付いた説などがあります。

（鳥栖市ホームページ参照）



第2章 まちづくり基本構想

(1) 現状と課題

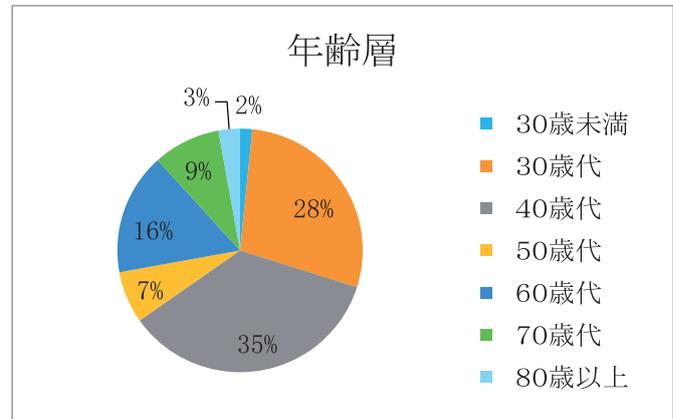
弥生が丘地区まちづくりアンケート集計結果(平成28年4月実施)

【総数】

492名(男性166名・女性326名)

【年齢層】

・30歳未満 8名 ・30歳代 140名
 ・40歳代 175名 ・50歳代 34名
 ・60歳代 80名 ・70歳代 44名
 ・80歳以上 14名



【町区】

今町 19名・弥生が丘東区 158名・弥生が丘中央区 193名・弥生が丘南区 81名・柚比町 42名

【居住年数】

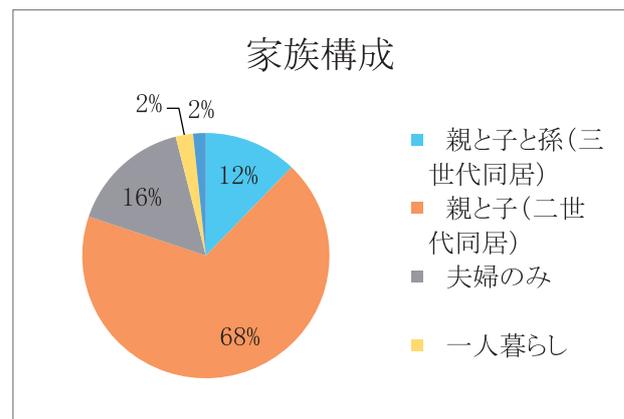
・1年未満 4名 ・1年以上5年未満 70名 ・5年以上10年未満 207名 ・10年以上20年未満 137名
 ・20年以上30年未満 15名 ・30年以上 57名

【移住場所】

生まれてから今の場所にずっと住んでいる 42名
 市内の他の場所から移住してきた 128名
 県内の他の市町村から移住してきた 84名
 県外から移住してきた 236名

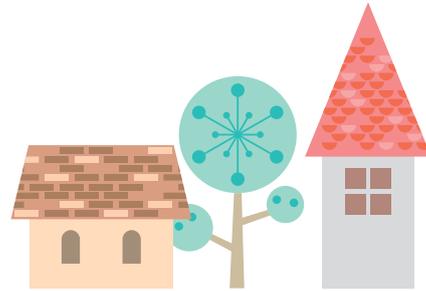
【家族構成】

親と子と孫(三世同居) 59名
 親と子(二世同居) 329名
 夫婦のみ 77名
 一人暮らし 11名
 兄弟姉妹で同居 8名



【弥生が丘地区に今後も住みたいと思うか】

住みたい 406名
 住みたくない 8名
 わからない 74名



【住み続けたい主な理由】(3つ以内)

人と人とのきずなが強いので	54名
自然災害の心配が少ないので	183名
花や緑が多く景観が良いので	131名
公共施設が近くにあるので	29名
買い物が便利なので	130名
交通の便が良いので	194名
歴史・文化があるので	9名
自慢できる地域の祭り・行事があるので	10名
子育ての環境がよいので	106名
同世代の人が多いため	70名
騒音がなく静かなので	111名
犯罪が少ないので	20名
住民マナーが良いので	46名
干渉が少なくプライバシーが保てるので	28名
その他	9名

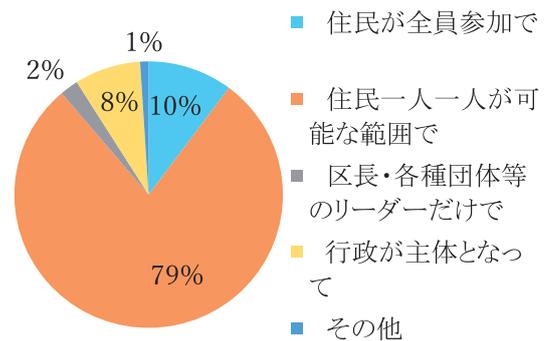
【住民一人一人のまちづくりへの参加について】

住民が全員参加で主体となって まちづくりを行うべきだと思う	50名
住民一人一人が可能な範囲で まちづくりに参加するべきだと思う	385名
まちづくりは区長・各種団体等の リーダーだけで進めるべきだと思う	11名
まちづくりは行政(市や県など)が 主体となって実践するべきだと思う	39名
その他	5名

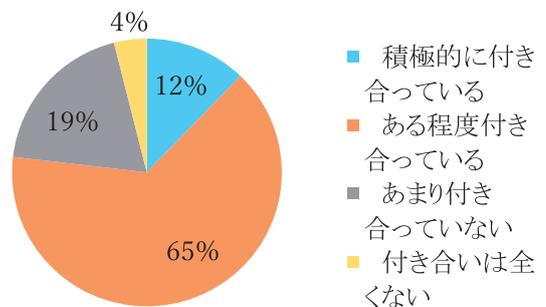
【近所付き合い】

積極的に付き合っている	59名
ある程度付き合っている	313名
あまり付き合っていない	93名
付き合いは全くない	19名

まちづくりへの参加



近所付き合い



【あまり付き合いがない主な理由】

近所付き合いが煩わしいので	7名
あいさつ程度で良いと思っているので	56名
付き合いなくても不自由は感じていないので	36名
家族みんな人付き合いが苦手なので	7名
付き合いことで何らかのトラブルに巻き込まれそうなので	8名
付き合いたいと思っているが機会がないので	42名
その他	9名

【地域行事】

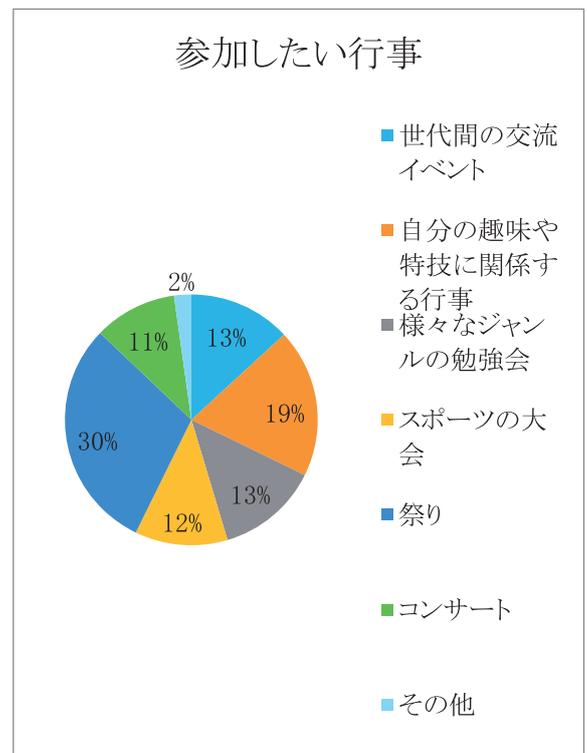
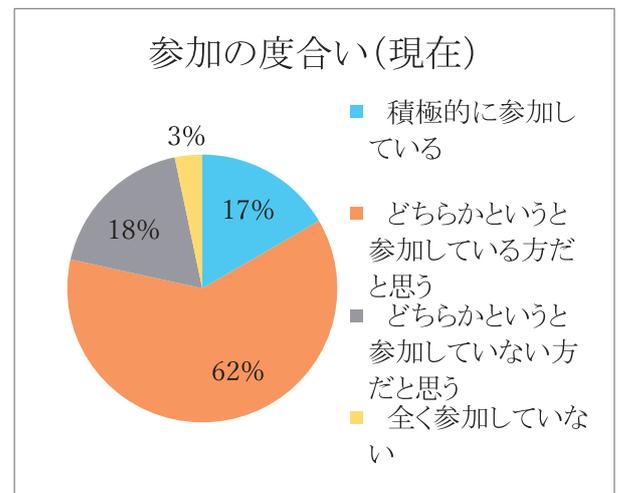
積極的に参加している	81名
どちらかというに参加している方だと思う	302名
どちらかというに参加していない方だと思う	89名
全く参加していない	16名

【参加していない主な理由】

高齢や病気等で参加できないので	5名
家族の看病や付き添い等で参加できないので	8名
仕事の都合で参加できないので	44名
参加したい人が参加すれば良いと思うので	33名
人との付き合いが苦手なので	16名
行事があることが伝わってこない	7名
参加したい行事がないので	27名
その他	13名

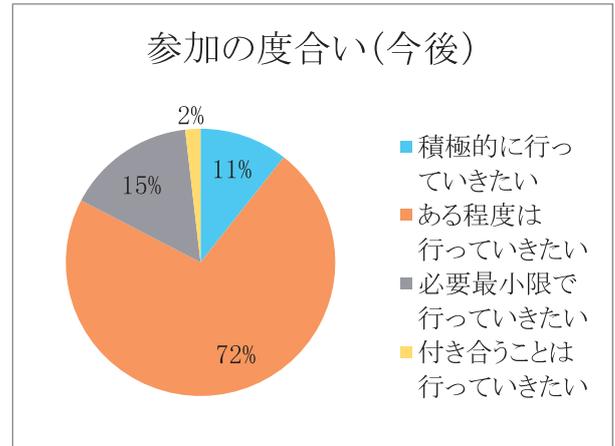
【どのような行事であれば参加したいか】

世代間の交流イベント	95名
自分の趣味や特技に関する行事	139名
様々なジャンルの勉強会	95名
スポーツの大会	86名
祭り	217名
コンサート	77名
その他	16名



【近所付き合いや地域行事への参加の今後について】

積極的に行っていききたい	52名
ある程度は行っていききたい	353名
必要最小限で行っていききたい	76名
付き合いことは行っていききたい	9名



【交通安全・防犯・防災面での危険箇所】

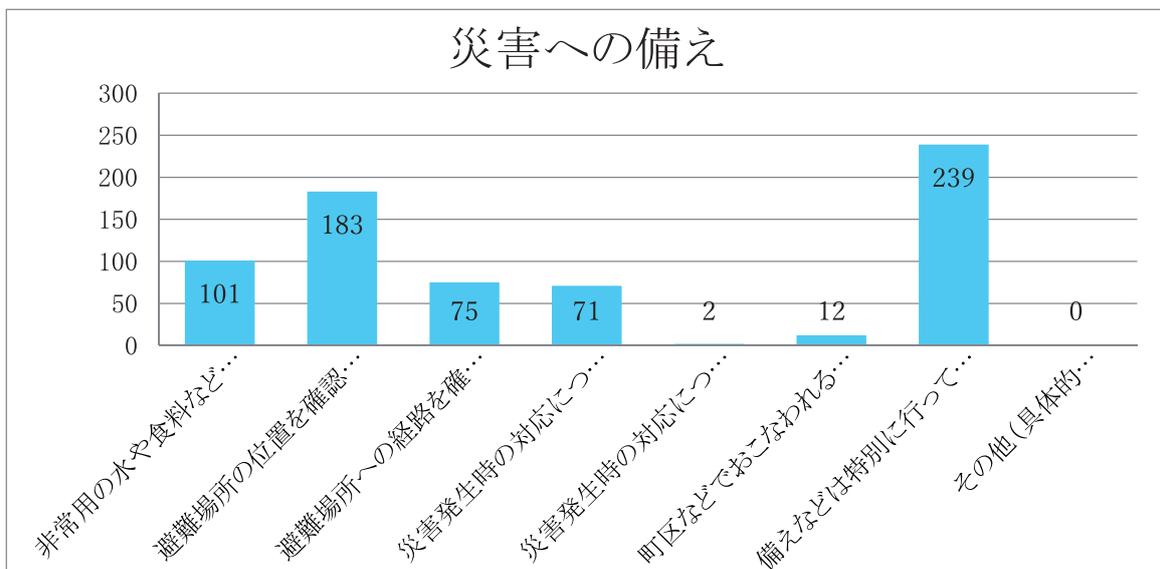
ある	242名
ない	225名

【危険の分野】

交通安全	190名
防犯	60名
災害	8名
その他	11名

【災害対策】

非常用の水や食料などを用意している	101名
避難場所の位置を確認している	183名
避難場所への経路を確認している	75名
災害発生時の対応について家庭で話し合っている	71名
災害発生時の対応について近所の方と話し合っている	2名
町区などでおこなわれる防災訓練に参加している	12名
備えなどは特別に行っていない	239名



(2) 基本理念と将来像

■シンボルマーク

弥生が丘地区まちづくり推進協議会の活動を幅広く親しみやすいものとするため、【明るいまちづくり】をテーマに、シンボルマークを募集しました。(平成 28 年 9 月募集)



弥生が丘小学校 1 年生 三田村娃鳥さん



■こんなまちになればいいな～10年後のとある日曜～

恒例の弥生が丘地区一斉美化作業、5町区住民が一斉にまちをきれいにします。
 地域団体の呼びかけで、タバコを吸う人やペットを飼う人のマナーも良くなりました。
 美化作業で顔見知りも増え、周りには気楽に話せる家族もたくさんできました。



季節のいい休日には、ハツ並公園で
 住民交流フリーマーケットが行われます。
 イベント模様をホームページで公開したら、
 アウトレットに来る方々にも繋がり、
 多くの人で賑わう楽しい一日。
 帰り際「こんな素敵なまちに住みたいな」の声を聞いて、
 やって良かったと嬉しくなるみんなの心。

放っておけば草が茂ってしまう本郷大池
 まち協のみんなの力で、
 自分の責任で自由に遊ぶプレーパークとして、
 泥遊びや木登り、釣りなど子どもたちが
 思いっきり遊べる大人気の場所となりました。
 子どものイベント、おとなのイベント、
 まちの情報がすぐにわかるようになり、
 誰でも気軽に参加できるまちづくり
 10年の年月を経て、地域の絆も深まり、
 自らまちを守る意識を一人一人が持つようになりました。



朝になれば、子どももおとなも
 元気で清々しい挨拶をして、1日が始まります。
 日が暮れば、安全のために、
 たくさんの団体がお互い協力して、まちを守っています。
 もし、災害が起きても、お互い様の心を忘れずに
 絶対に乗り越えていけるでしょう。



弥生が丘小学校の卒業式

「大人になったら、弥生が丘に帰ってきて、
ここで子育てをしたいです。」
と言ってくれる子どもが、今年ももっと多くなるように…
10年、20年後に大人になる子どもたちに、
明るい未来のバトンを渡せるように…
弥生が丘に住む人みんなで、
子どもたちが故郷と呼べるまち、
私たちのまち弥生が丘をつくっていきましょう。



■基本理念

- ・ 気楽に話せる人たち
- ・ 多くの人で賑わう楽しい日々
- ・ 気軽に参加できるまちづくり
- ・ 自らまちを守る意識
- ・ 明るい未来のバトンを次世代に



■将来像

マイホームタウン 弥生が丘
(My home town Yayoigaoka)
～子どもたちが故郷と呼べるまち～



(3) まちづくりの基本目標

1. 犯罪と交通事故のない、災害に強い安全な弥生が丘をつくります

交通安全・防犯・防災面での危険箇所を解消し、各町区・各種団体での自主防犯活動を充実するとともに、災害に強い弥生が丘をつくるために、自主防災組織間や各種団体の連携強化に取り組み、いざというときにも安心して暮らせるまちにします。

2. 快適で、うるおいとやすらぎのある弥生が丘をつくります

各町区・各種団体での美化（除草）作業の充実を図り、弥生が丘の街並みと景観は美しい、都市と自然の風景が楽しめる、と感じる住民が多くなるように、地域住民が一体となって景観まちづくりに取り組みます。

3. 青少年を心豊かに育む弥生が丘をつくります

公園の有効活用や顔見知りを増やすための世代間交流事業を実施し、子どもたちが遊び、学べる環境や挨拶をすすんでできる弥生が丘をつくります。

4. 弥生が丘地区の一体感を醸成します

各町区・各種団体・企業が一体となった事業を実施し、地区の一体感を醸成します。

5. 地域福祉が充実した弥生が丘をつくります

共に認め合い、支え合う、あたたかみと安心感のある弥生が丘にします。

6. まちづくり活動に関する情報発信と共有を効果的に行ないます

まちづくり通信とホームページを充実させます。また、まちづくり推進協議会と所属団体の活動を中心としたHP掲載資料の収集や定期的なブログの更新と安定的な運営費の確保に取り組みます。

7. 文化活動を促進し、住民の文化に対する意識の高揚と住民相互の親睦を図ります

個人・団体に文化発表と文化鑑賞の機会を提供するために文化祭を開催します。また、地区住民相互の親睦と交流が図れるように、みんなで作り上げます。

8. 住民のためのまちづくり推進協議会をつくります

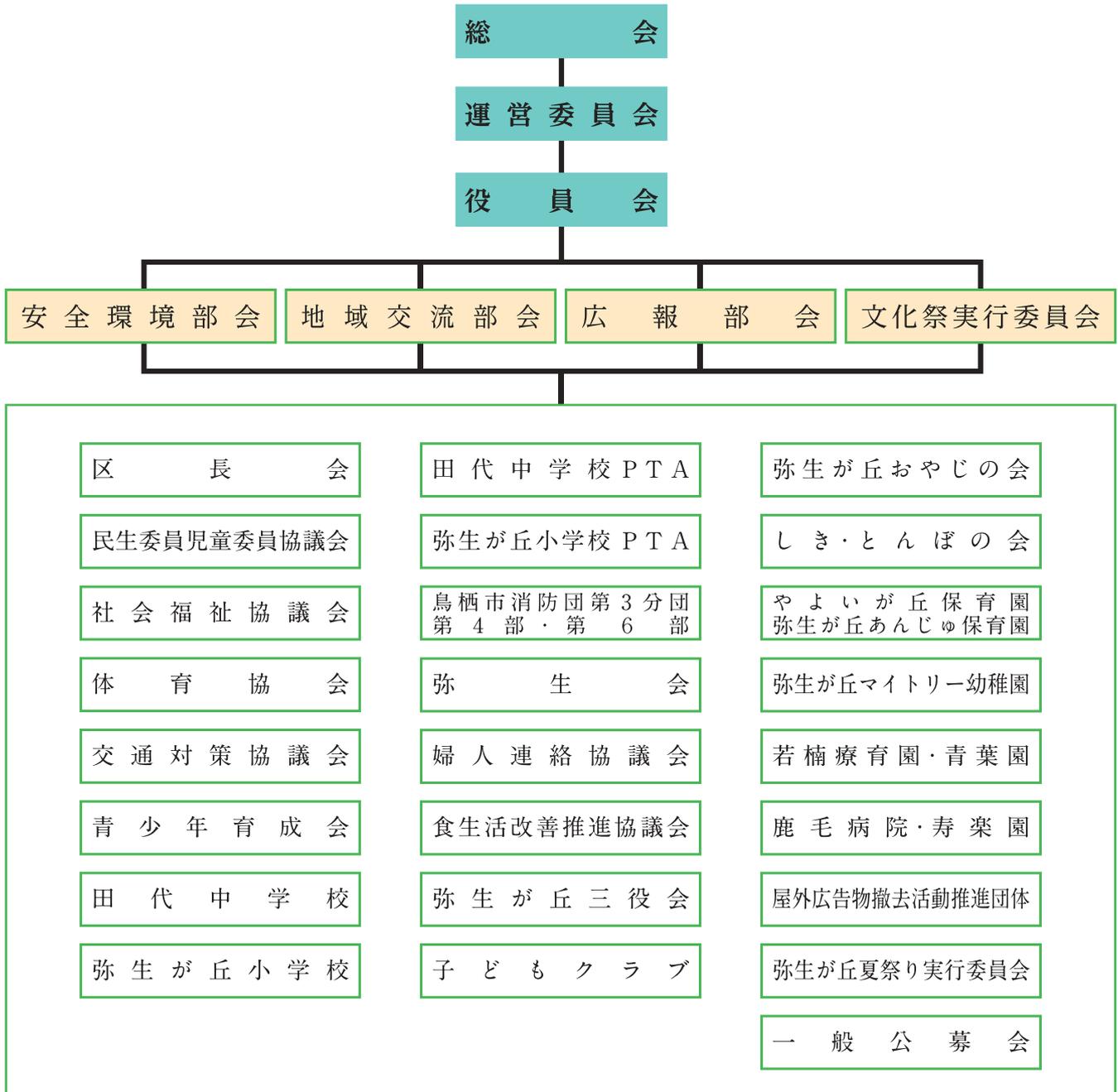
地区が一体となって課題解決へ取り組むために、部会間の調整と役員会の運営、交付団体（社協・体協・交対協・青少年）間の事業調整と連携を図ります。



第3章 まちづくり推進計画

(1) 推進体制

まちづくり推進協議会構成団体・組織図



(2) 基本目標を達成するための取り組み(部会別事業計画)

安全環境部会

- 1. 犯罪と交通事故のない、災害に強い安全な弥生が丘をつくります
- 2. 快適で、うるおいとやすらぎのある弥生が丘をつくります

課題解決のための取組	事業計画	現状	短期目標
事故危険箇所の解消	交通安全・防犯防災面での危険箇所の抽出作業とマップの作成	交通安全重点地区 ①柚比インター②弥生が丘駅入口③ふれあい通り④弥生が丘小学校通学路⑤田代中学校通学路	①交通安全・防犯防災面での危険箇所マップの周知 ②事故・犯罪・災害の被害防止マニュアルの基本構想策定 ③交番(駐在所)の設置要望署名活動 署名数 5,000 名
防犯対策の充実		各町区で自主防犯活動が行われている。児童は防犯ブザーを持っている。防犯灯 389 基設置。	
災害に強いまちづくり		各町区に自主防災組織が結成されている	
景観まちづくり	美化作業の充実	違反広告物は、屋外広告物撤去活動推進団体により撤去されている	都市景観に配慮した啓発看板・のぼり旗の設置。
美化作業の充実		各町区で定期的に美化作業が行われている	弥生が丘地区一斉美化作業の開催(年 1 回: 県道・市道・本川・愛宕山・本郷大池の草刈含む) 参加者 2,500 名



地域交流部会

- 3. 青少年を心豊かに育む弥生が丘をつくります
- 4. 弥生が丘地区の一体感を醸成します
- 5. 地域福祉が充実した弥生が丘をつくります

課題解決のための取組	事業計画	現状	短期目標
子どもたちが遊び、学べる環境づくり	公園の有効活用と交流事業の実施	公園の禁止事項が多く、遊びたくても遊べない環境、遊び方を知らない環境である	遊び方を知らない環境を地域一体となって改善する
挨拶をすすんでできる弥生が丘	顔見知りを増やすための交流事業の実施	大人は子どもの顔を知らない、子どもも大人の顔を知らない状況で、挨拶ができない	地区の一体感を醸成され(5町区連携)、世代間交流ができる事業の実施、地区運動会の充実
地区全体で取り組む事業の構築	シンボルマークのコンテスト	各町区が各自でまちづくりを行っていて、連携は少ない	
家庭にこもりがちな高齢者に外出を促す	地域交流グラウンドゴルフツアー	H28.高齢者グラウンドゴルフツアー参加者数 86名(延べ)	地域交流グラウンドゴルフツアー参加者数 100名(延べ)



広報部会

6. まちづくり活動に関する情報発信と共有を効果的に行ないます

課題解決のための取組	事業計画	現状	短期目標
まちづくり通信の充実	まちづくり通信の作成	まちづくり推進協議会を知らない、通信を見ていない	まちづくり通信の充実(A4 両面 毎月発行)
ホームページの立ち上げ	ホームページ(H P)作成講座の開催	アンケートの結果を発信できない、団体間で情報共有ができていない(HP なし)	HP掲載資料の収集・定期的なブログの更新、安定的な運営費の確保

文化祭実行委員会

7. 文化活動を促進し、住民の文化に対する意識の高揚と住民相互の親睦を図ります

課題解決のための取組	事業計画	現状	短期目標
個人・団体に文化発表の機会を提供する	地区文化祭の開催	H28.出演 23 団体・出品 287 点	出演 25 団体・出品 300 点
地区住民に文化鑑賞の機会を提供する		H28.来場者数 1,434 名(延べ)	来場者数 1,600 名(延べ)
地区住民相互の親睦と交流の機会を提供する		H27.文化祭の出演 247 名・出店 3 団体・実行委員 40 名	文化祭の出演 280 名・出店 4 団体・実行委員 50 名
みんなで一つの事を作り上げる		実行委員の充実度 7 割、出演・出展・出品者の満足度 6 割	実行委員の充実度 8 割、出演・出展・出品者の満足度 7 割



協議会全体

8. 住民のためのまちづくり推進協議会をつくります

課題解決のための取組	事業計画	現状	短期目標
地区一体となった課題解決への取り組み	部会間・各種団体間の調整と役員会の運営	各部会の活動状況がわからない	部会間の調整と役員会の運営、交付団体(社協・体協・交対協・青少年)間の事業調整と連携
	まちづくりの拠点としてのセンターの充実	各種団体や教室以外は、まちづくり推進センターに来る用事がない	オープンスペースの利活用の検討、オープンスペースにPCを設置

(3) 中長期目標と目標達成の検証・見直し

事業の実施状況、課題、目標達成度等を取りまとめ、毎年度評価・検証を行い、次年度の事業計画に反映します。また、2021年度に、まちづくり推進計画(推進体制・基本目標を達成するための取り組み等)の見直しを行い、後期推進計画(2022～2026)を策定します。

2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
まちづくり推進計画									
前期推進計画					後期推進計画				
短期目標				見直し・後期計画策定	中期目標		長期目標		10年後の姿



安全環境部会

犯罪と交通事故のない、災害に強い安全な弥生が丘をつくります
 快適で、うるおいとやすらぎのある弥生が丘をつくります

部会	基本目標	中長期目標	目標達成の検証 (住民意識調査)	10年後の姿
安全・環境	犯罪と交通事故のない、災害に強い安全な弥生が丘をつくります	交通安全重点地区 ①柚比インター②弥生が丘駅入口③ふれあい通り④弥生が丘小学校通学路⑤田代中学校通学路	地域の交通マナー(自動車・自転車・歩行者)は良いと思う住民の割合・・・5割	交通事故ゼロのまち「弥生が丘」
		防犯意識を高める活動。防犯灯 420基設置。交番(駐在所)の設置。防犯カメラの設置。	地域の防犯意識は高いと思う住民の割合・・・5割	犯罪ゼロのまち「弥生が丘」
		弥生が丘防災の日の制定(地区一斉防災訓練と各家庭での緊急時の連絡方法・家具の転倒防止・役割分担・非常持ち出し品・避難場所と避難路の確認)	年に一度は家庭で防災対策を確認する戸数・・・7割	災害に強いまち「弥生が丘」
	快適で、うるおいとやすらぎのある弥生が丘をつくります	自然景観を活かしたウォーキングコースの設定(本川・愛宕山・本郷大池など)	弥生が丘の街並みと景観は美しいと思う住民の割合・・・8割	都市と自然の風景が楽しめるまち「弥生が丘」
弥生が丘地区一斉美化作業の開催(年1回:県道・市道・本川・愛宕山・本郷大池の草刈含む)参加者 3500名		地区一斉美化作業に参加したことがある住民の割合・・・5割		



地域交流部会

青少年を心豊かに育む弥生が丘をつくります
 弥生が丘地区の一体感を醸成します
 地域福祉が充実した弥生が丘をつくります

部会	基本目標	中長期目標	目標達成の検証 (住民意識調査)	10年後の姿
地域・交流	青少年を心豊かに育む 弥生が丘をつくります	子どもを通じた地域コミュニケーションの拠点(公園)を創出する	公園で子どもたちが元気に遊ぶ姿をよく見かける 住民の割合・・・5割	子どもたちが思いっきり遊べる場所がある。
	弥生が丘地区の一体感を醸成する	弥生が丘地区の住民(各種活動団体・企業)が一体となり、みんなでつくりあげるイベントの実施	朝、挨拶をしている住民の割合・・・8割	子どももおとなも元気で清々しい挨拶をして、1日が始まります。
	地域福祉が充実した弥生が丘をつくります		弥生が丘はひとつと感じる住民の割合・・・8割	弥生が丘はひとつという一体感が生まれ、課題にもみんなで解決しようという機運が生まれる。
			地域福祉が充実していると思う住民の割合・・・5割	共に認め合い、支え合っています。



広報部会

まちづくり活動に関する情報発信と共有を効果的に行ないます

文化祭実行委員会

文化活動を促進し、住民の文化に対する意識の高揚と住民相互の親睦を図ります

協議会全体

住民のためのまちづくり推進協議会をつくります

部会	基本目標	中長期目標	目標達成の検証 (住民意識調査)	10年後の姿
広報	まちづくり活動に関する情報発信と共有を効果的に行ないます	弥生が丘情報誌の検討、1回/年 全世帯配布	まちづくり推進協議会を知っている住民の割合…8割	弥生が丘情報誌とHPが充実し、まちの団体の活動の様子やイベント情報がすぐわかるようになっている。
		地域密着！弥生が丘のことなら何でも分かるHPに、HPアクセス数18,000件/年		
文化祭	文化活動を促進し、住民の文化に対する意識の高揚と住民相互の親睦を図ります	出演 30 団体・出品 350 点	文化祭へ行ったことがある住民の割合…5割	文化祭への関心が高まり、誰でも気軽に参加できるイベントになっている。
		来場者数 2,000 名(延べ)		
		文化祭の出演 240 名・出店 8 団体・実行委員 70 名	文化祭に関わって新たな友人・仲間ができた人の割合…9割	文化祭が住民相互(出演・出展・出品者・来場者・実行委員)の親睦と交流の場になっている。
		実行委員の充実度 10 割、出演・出展・出品者の満足度 9 割		
協議会全体	住民のための弥生が丘まちづくり推進協議会をつくります	推進計画に交付団体の計画を取り込む	まちづくり推進協議会が必要だと思っている住民の割合…6割	まちづくり推進協議会は、弥生が丘のまちづくりの中心的役割を担っている。
		公衆無線 LAN の設置		



マイホームタウン 弥生が丘

My home town Yayoigaoka

～子どもたちが故郷と呼べるまち～



弥生が丘地区まちづくり推進協議会

(住所) 鳥栖市弥生が丘2丁目146番地3

(電話) 0942-55-8633